

2 虐待防止措置の強化・身体拘束等の適正化について

①虐待防止措置の強化

【改定前】 努力義務

- ・従業者に対する研修
- ・虐待防止等のための責任者の設置

【改定後】 R3年度は努力義務・R4年度から義務化

- ・従業者に対する研修
- ・虐待防止等のための責任者の設置
- ・虐待防止委員会の設置及び
委員会での検討結果を従業者へ周知

2 虐待防止措置の強化・身体拘束等の適正化について

①虐待防止措置の強化

《虐待防止委員会の役割》

- ・虐待防止の研修、労働環境・条件を確認・改善するための実施計画作成
- ・虐待防止のチェックとモニタリング
- ・虐待発生後の検証と再発防止策の検討

※虐待防止委員会は少なくとも年に1回は開催

2 虐待防止措置の強化・身体拘束等の適正化について

②身体拘束等の適正化について

- ・身体拘束等を行う場合には、その態様及び時間、その際の利用者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由その他必要な事項を記録すること。
- ・身体拘束等の適正化のための対策を検討する委員会を定期的開催するとともに、その結果について、従業者に周知徹底を図ること。
- ・身体拘束等の適正化のための指針を整備すること。
- ・従業者に対し、身体拘束等の適正化のための研修を定期的実施すること。

※上記基準を満たしていない場合

「身体拘束廃止未実施減算 5単位／日」の対象
(令和5年4月から適用)

2 虐待防止措置の強化・身体拘束等の適正化について

- ・虐待防止及び身体拘束等の適正化についての具体的な手法についての事例集

「障害者虐待防止及び身体拘束等の適正化に向けた
体制整備等の取組事例集（暫定版）」
令和4年3月PwCコンサルティング合同会社